

V. 各種様式

< 様式 >

- 履修届
 - 履修変更届
 - 修士論文研究計画書
 - 中間発表(報告)会申込書
 - 学位論文 題目変更届
 - 学位論文用フラットファイル表紙・背表紙
 - 学位論文審査願(様式 1)
 - 学位論文・表紙(様式 2-1)
 - 学位論文・本文(様式 2-2)
 - 論文要旨・表紙(様式 3-1)
 - 論文要旨・本文(様式 3-2)
 - 履歴書(様式 4)
-

大学院医療技術科学研究科 博士前期課程 履修届

提出日： 令和 年 月 日

専攻		指導教員	印
学生番号		氏名	印

【専門科目】生体情報解析学分野				【共通科目】			
授業科目	年次	単位数	履修	授業科目	年次	単位数	履修
生体機能解析学特論	1	2		自然科学特論	☆1・2	2	
生体機能解析学演習	1	2		臨床検査管理学特論	☆1・2	2	
病態情報解析学特論	1	2		臨床検査研究法特論Ⅰ	☆1	2	
病態情報解析学演習	1	2		臨床検査研究法特論Ⅱ	☆1	2	
血液病態解析学特論	1	2		保健医療データサイエンス特論	☆1・2	2	
血液病態解析学演習	1	2					
免疫細胞生物学特論	1	2		【研究指導】			
免疫細胞生物学演習	1	2		生体情報解析学研究	☆1～2	12	
感染生物学特論	1	2		☆:必修科目			
感染生物学演習	1	2					
遺伝子関連検査学特論	1	2					
遺伝子関連検査学演習	1	2					
分子細胞病理学特論	1	2					
分子細胞病理学演習	1	2					

履修単位数合計 単位

【応用特色科目】			
授業科目	年次	単位数	履修
保健医療管理学特論	1・2	2	
医療病態学特論	1・2	2	
医療予防医学特論	1・2	2	
先端医科学特論	1・2	2	
医療英語特論	1・2	2	

■履修を希望する科目の「履修」欄に○をつけること。

■履修単位数合計が30単位以上になるように科目を選択し、合計欄に記入すること

※必修科目である「共通科目」(必修10単位)のほか、「応用特色科目」から4単位以上、「専門科目」から4単位以上を履修し、「研究指導」の「生体情報解析学研究(必修12単位)」とあわせて30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、学位論文の審査および最終試験に合格すること。

※「専門科目」については、7つの専門分野のうち、同じ専門分野である特論と演習を必ず含む4単位以上であること。

大学院医療技術科学研究科 前期博士課程 履修変更届

提出日： 令和 年 月 日

専攻		指導教員	印
学生番号		氏名	印

以下の科目について、変更したく、届け出ます。

1. 新規に履修を希望する科目

科目名：
科目名：
科目名：

2. 履修取り止めを希望する科目

科目名：
科目名：
科目名：

3. 変更理由

--

■修士学位論文研究計画書

大学院医療技術科学研究科 修士学位論文研究計画書

令和 年 月 日 提出

学生氏名	㊞	学生番号	
所 属	臨床検査学 専攻	指導教員	㊞
研究課題 (論文題目)			
【研究目的・内容】 [当該研究計画の目的・内容について、何を、どこまで明らかにしようとするのかを具体的に記入すること。]			
【研究の背景、意義、特色】 [当該分野の先行研究の状況やそれとの比較などを含め、本研究の特色、着眼点、独創的な点を記入すること。]			
【研究計画・方法】 [研究目的を達成するための作業日程を含めた研究計画、研究対象、データ収集方法、分析方法を具体的に記入すること。 また、これまでの準備状況（この計画書の提出時点で、すでに終了しないし進行中の作業）についても記入すること。]			
【倫理的配慮】 * 倫理委員会への審査申請の有無【有・無】 [「有」の場合、その内容を具体的に記入すること。]			

(通しのページ番号を入れること)

※A4 サイズ、片面 3 枚以内で作成すること。

※文字フォントは、日本語（MS 明朝）、英数字（Times New Roman）、標準 10.5～11 ポイントを用い、アルファベット、数字は半角文字と半角スペースを使用すること。

※「引用文献および参考文献リスト」を別紙（A4 サイズ）で添付すること。

■中間発表(報告)会申込書

令和 年 月 日

中 間 発 表 (報 告) 会 申 込 書

医療技術科学研究科長 殿

課 程 博士前期課程

専 攻 臨床検査学専攻

学生番号

氏 名 印

指導教員 印

このたび、医療技術科学研究科（博士前期課程）中間発表（報告）会で下記題目により発表いたしたく、研究発表要旨を添えて申し込みます。

研究発表題目 :

研究発表要旨 : _____
(50字程度)

■学位論文題目変更届

学 位 論 文 題 目 変 更 届

令和 年 月 日

医療技術科学研究科長 殿

課 程 博士前期課程
専 攻 臨床検査学専攻
学生番号
氏 名
指導教員

印
印

このたび、下記のとおり、学位論文の題目変更を行いましたので、届け出ます。

記

学位論文の題目

・変更後(新):

・変更前(旧):

■学位論文フラットファイル表紙・背表紙

○フラットファイル表紙（上部貼り付け） ※ 横140mm、縦40mmの二重線枠で囲むこと。

□□□ . . .	論文題目	. . . □□□
(日本語表記：中央揃え、MS明朝、14ポイント)		

○フラットファイル表紙（下部貼り付け） ※ 横110mm、縦50mmの枠線で囲むこと。

(中央揃え、MS明朝、12ポイント)
令和〇〇年度
北海道医療大学大学院医療技術科学研究科
臨床検査学専攻
氏 名

○フラットファイル・背表紙 ※ 横10～12mm、縦230mmの線枠で囲むこと。

(中央揃え、MS明朝、12ポイント)

□
□
□
論文題目
□
□
□
〇
〇
氏名
〇
〇

■学位論文審査願(様式1)・・・学位規程施行細則第2・4条関係

学 位 論 文 審 查 願

令和 年 月 日

北海道医療大学長 殿

入学年

研究分野 臨床検査学専攻

氏 名 印

このたび、修士（臨床検査学）の学位を受けたく下記題目の学位論文に論文要旨、履歴書を添えて提出しますので、審査くださるようお願い致します。

記

学位論文の題目

〔「学位論文審査願」記入要領〕

- ・提出月日は、学位論文提出日を算用数字で記入すること。
- ・入学年は、和暦（「令和」）で記入すること。
- ・氏名欄の押印は、シャチハタ等でも可とする。
- ・「修士論文研究計画書」に記載の論文題目を記入すること。なお、変更した場合は、「学位論文題目変更届」を併せて提出すること。

■ 学位論文・表紙(様式2-1)・・・学位規程施行細則第2・4条関係

↑

7 c m

↓

← 5 c m → □ □ □ . . . 論 文 題 目 . . . □ □ □ ← 5 c m →

□ □ □ □ □ □

(論文題目が2行以上になるときは、行間を9～10mmとる)

← 3 ～ 4 c m →

令和〇〇年度

← 9 ～ 1 0 c m →

北海道医療大学大学院医療技術科学研究科

臨床検査学専攻

氏 名

↑

7 c m

↓

<備考>用紙はA4判の上質紙

↑

3 c m

↓

← 3 c m → □□□

□□□

. □□□ ← 3 c m →

. □□□

※横 3 8 ～ 4 2 文字 × 縦 2 8 ～ 3 0 行を標準とする。

※文字フォントは日本語（MS明朝）、英数字（Times）を使用し、
数字、アルファベットは半角文字を使用。

※文字フォントサイズは標準 1 0 . 5 ポイントを使用。

※頁数は枠外中央に記入すること。

↑

3 c m

↓

□□□

. □□□

＜備考＞用紙はA 4 判の上質紙

↑

3. 5 c m

↓

← 7 c m → 論文 要 旨 ← 7 c m →

↑

2. 5 c m

↓

← 5 c m → □□□ . . . 論 文 題 目 . . . □□□ ← 5 c m →

□□□ □□□

(論文題目が2行以上になるときは、行間を9～10mmとる)

← 3 ～ 4 c m →

令和〇〇年度

9 ～ 1 0 c m

← 北海道医療大学大学院医療技術科学研究科

臨床検査学専攻

氏 名

↑

7 c m

↓

＜備考＞用紙は A 4 判の上質紙

＜備考＞用紙はA 4 判の上質紙

■履歴書(様式4)・・・学位規程施行細則第2・4条関係

履 歴 書	
氏 名 (性別 男 女)	
昭和・平成 年 月 日生	
本 籍	
現 住 所	〒 ー
学 歴	
職 歴	
研 究 歴	
賞 罰	
上記のとおり相違ありません。	
令和 年 月 日	
氏 名 印	

備考

学歴は高等学校(又は旧制中学校)卒業以後について、年次順に記載すること。

【「履歴書」記入要領】

- ・性別は、「男」「女」の不要な方を削除すること。
- ・生年月日は、「昭和」「令和」の不要な方を削除し、算用数字で記入すること。
- ・本籍は、都道府県のみを記入すること。
- ・現住所は、学位申請者自身の郵便番号・現住所を記入すること。
- ・学歴は、高等学校卒業以降について、年次順に記入すること。
- ・職歴がない場合は「なし」と記入し、アルバイトについては記入しないこと。
- ・研究歴がない場合は「なし」と記入すること。
- ・賞罰がない場合は「なし」と記入すること。
- ・提出月日は、履歴書の提出日を算用数字で記入すること。
- ・氏名欄の押印は、シャチハタ等でも可とする。